

青葉中学校区小中一貫教育



目指す子どもの姿

- あ かるく意欲的に学ぶ子(知)
- お もいやりのある子(徳)
- ね ばり強く挑戦する子(体)



教育目標

ふるさとを大切にし
共に学び合い 共に支え合い 共に磨き合い
可能性を切り拓く子どもの育成



青葉中学校区が進める小中一貫教育



重点目標

豊かな心の育成

- 人権教育の推進
- 道徳教育の推進
- 人間関係づくりを重視した特別活動の充実
- 生徒指導の充実
- 一人一人を大切にしたい学級経営の充実

確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 学びを深める多様な学習形態を取り入れた授業づくり
- 9年間を見通した学力の充実

健康なからだの育成

- 命とからだの学習の充実
- 食育の充実
- 年間を通した体力づくりとチャレンジ精神の育成

ふるさとを愛する心の育成

- ふるさと学習を中心とした総合的な学習の時間の充実
- 地域に開かれた学校
- 地域に貢献できる児童生徒の育成
- 学校運営協議会との協働

9年間で児童生徒に身に付けさせたい3期の力 **自立** と **自律**

後期

中2～中3

共生社会の実現に向けて、お互いに高め合う力

進路を見据えて、主体的・協働的に学び合う力

未来にむけて挑戦し、たくましく生きるための体づくりに努める力

ふるさと舞鶴を愛するとともに、多様な文化を理解する力

中期

小5～中1

集団の中でお互いを尊重し、認め合い、思いやりを持って行動する力

自らの課題に向かって、粘り強く取り組み、友達と学びを深め合う力

自己の心や体の健康について考え、継続的に体力を高める力

舞鶴の歴史や文化を理解し、お互いに伝え合う力

前期

小1～小4

きまりや約束を守り、友達と仲良く協力して学校生活を送る

めあてに向かってコツコツと学習に取り組み、友達と一緒に学び合う力

身近な生活を見つめ直し、進んでからだを動かす力

地域の行事に進んで参加し、活動を振り返ることのできる力



研究テーマ

主体的・協働的な学びの創造

～学び合いのある授業づくりを通して～

青葉中学校区のつながり

教職員

共通項目アンケートによる児童生徒理解

舞ラーニング

重点研究交流

小中学校合同授業研究会

自己肯定感を高める授業づくり

学力分析・交流・活用

学習規律5項目

学びタイム

ICTを活用した授業

青葉ベーシック

つながる力を育む特別活動

新体力テストの分析・交流・活用

地域に貢献できる場の設定

学び

パワーアップ週間(家庭学習強化期間)

地元食材を使った給食

発達の段階に応じた「命とからだの学習」



部活動体験



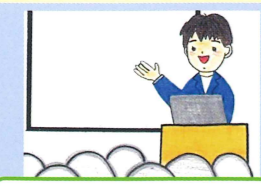
園児との交流

子ども同士

付けたい力を明確にした学校行事や体験的な活動

地域行事への参加

地域



校区PTA人権講演会



校区一斉あいさつ運動

学校・保護者・地域の協働的な教育を推進するための6つの共通指導項目

地域人材の活用

ふるさと学習を中心とした総合的な学習の時間

青葉ベーシック

- めあての提示
- 学習形態の工夫
- 学習の振り返り



子ども同士のつながりをつくる学び合いを含め、基本的な授業のスタイルを共有することで、小・中学校間での学び方の接続がスムーズに行われます。安心して学習に取り組むことができ、自己肯定感を高めることにつながります。

学びタイム

児童・生徒が自ら学習課題を設定し、主体的に学習に取り組む時間を教育課程に位置づけて、年間を通して継続的に取り組んでいます。

重点研究交流

各校の重点研究の取組を全職員で交流し、成果を発表し合うことで、校区の教職員全体の指導力の向上を目指しています。

● 認知能力 ●

青葉中学校校区小中一貫教育の主な取組

● 非認知能力 ●

共通項目アンケートによる 児童生徒理解

校区の児童・生徒に共通のアンケートを実施し、非認知能力を数値化することで分析し、児童生徒理解や学級経営の改善に活用しています。

学習規律5項目

- 挨拶
- 返事
- 時間
- 姿勢
- 持ち物

どの授業でも大切にしたい学習規律について、9年間を通して一貫した指導を行うことで、一人一人が落ち着いて学習に集中できる環境を育てています。

学校・保護者・地域の協働的な教育を推進するための 6つの共通指導項目

- あいさつをする。
- きまりや約束を守る。
- 仲間を大切にする。
- 正しい言葉づかいをする。
- 話を聴く。
- 「自学」をする。



「社会に開かれた教育課程」の実現において、全ての教育活動を通して学校、保護者、地域で共通認識を持ちながら、重点的に取り組んでいます。